



人間が水（プール）に浮かぶのはどうして

人間が水より軽いから

人間が水（プール）に浮かぶのは、人間が水よりも軽いからです。

物が水にうくかすむかは、その物が、水よりも重いか軽いかで決まります。もちろん、重さを比べるには、比べるものと水は、同じ量（体積）にしなければなりません。

こうして比べたとき、その物が水より軽ければうき、水よりも重ければすむというわけです。

人間の場合、このようにして水と比べると、じつは水よりもほんの少し重いのです。

そのため、水の中で、体を動かさないと、ずんでしましますが、手足を動かして水をけったり、肺にたくさん空気を吸いこんでおけば、うかんでいられるのです。

ところが、赤ちゃんの場合、体に脂肪が多いので、水よりも体が軽く、じっとしていても、ういていられるのです。

海のほうがプールよりうきやすいのは

海水というのは塩水です。プールの水よりも海水のほうが重いため、人間が海に入った場合、海のほうがプールよりうきやすいのです。（監修・保志 宏）

